

講義、実習の概要

講座名	原子力・放射線入門講座
題目	原子力開発の経緯
	■講義 □実習
所要時間	2.3 時間
実施場所	研修講義棟
	■講義室 □非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	軍事利用に端を発した原子力開発が、原子力の平和利用に向ってどのように変遷したかを、原発および放射線利用について理解すること。
概要	<p>以下に付き講義</p> <p>(1) 人類が核分裂にたどり着くまでの経緯</p> <p>(2) 原子力の軍事利用の内容</p> <p>(3) わが国における原子力研究開発の経緯 (昭和20年代から現在まで)、</p> <p>(4) 原研における原子力研究開発の経緯</p> <p>(5) 原子力エネルギー利用の経済規模</p> <p>(6) 放射線工業利用、農業利用、医学・医療利用の開発経緯と経済規模</p>
キーワード	原子力軍事利用、原子力平和利用、わが国における原子力研究開発、原研における原子力研究開発、原子力利用の経済規模 放射線利用の研究開発と経済規模
使用する RI、危険物、重量物等	特になし

講義、実習の概要

講座名	原子力・放射線入門講座
題目	保障措置と計量管理
	■講義 □実習
所要時間	1.2 時間
実施場所	研修講義棟
	■講義室 □非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	保障措置、計量管理の基礎的な内容を理解する。
概要	本講義では、原子力の平和利用を目的とした核不拡散を理念とした IAEA による保障措置活動及び事業者が行う計量管理について、その目的や基礎的な内容について講義を行う。
キーワード	保障措置、計量管理、核不拡散、査察、IAEA
使用する RI、危険物、重量物等	なし

講義、実習の概要

講座名	原子力・放射線入門講座
題目	原子力防災対策
	■講義 □実習
所要時間	1.2 時間
実施場所	研修講義棟
	■講義室 □非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	原子力防災の仕組みや原子力災害特有の対策の原理を理解し、我が国の原子力防災体制及びその基本となる考え方を学ぶ。
概要	我が国の原子力防災体制について、その根拠となる法令等に基づいて説明する。また、原子力災害特有の対策の必要性やその原理を理解し、これらの対策がどのような基準で実施されるか講義する。
キーワード	原子力災害対策特別措置法、原子力災害対策指針
使用する RI、危険物、重量物等	無し